

地域密着型金融の取組み状況

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

「地域経済の活性化」「豊かな地域社会」「持続可能な地域環境」をめざし、地域社会に貢献してまいります。

地域経済の活性化をめざして



「燕三条 ものづくり企業 工場見学ガイド～KOUBA めぐり～」発刊

2021 年 4 月、県内外から観光客を誘致するため、ガイドブックを作成し、全国 170 以上の信用金庫へ送付いたしました。当金庫職員が案内役となり、オープンファクトリーを中心に燕三条地域の名所やグルメを紹介しております。また、地元企業の理解を深める教材として三条市立大学にも全学生分を寄贈いたしました。

＊ 関東地区信用金庫 PR コンクールにおいて地域密着部門 関東信栄懇話会賞を受賞しました。



「燕三条 工場の祭典」ミュージアムへの協力

2021 年 11 月、新型コロナウイルスの影響により、ものづくりの現場を体感するイベント「燕三条 工場の祭典」に代わって、展覧会「Tsubame-Sanjo Factory Museum」が開催され、職人の技術による高品質な製品、燕三条の歴史文化、「燕三条 工場の祭典」の歩みなどが、展示紹介されました。

当金庫は、2014 年から毎年、「燕三条 工場の祭典」の運営に職員を派遣しており、2021 年度は 10 名を展覧会運営に派遣いたしました。



ビジネスマッチング等を活用した販路拡大支援

2021 年 11 月に新潟県内 9 信用金庫が合同で、販路拡大の機会を提供するため、首都圏や県内の百貨店等バイヤーを招聘し「新潟県しんきん個別商談会」を開催いたしました。

また、国内最大級のクラウドファンディングサイト「Makuake（マクアケ）」と提携し、資金調達や新商品・新サービスの市場調査、販路開拓のための支援サービスを強化しております。



女性のための働き方セミナー

2021 年 6 月、起業を検討している女性を対象に「女性のための働き方セミナー」（主催：三条市、共催：当金庫）を開催いたしました。受講生は、自分の「好き」や「得意」を仕事や起業に結びつけるための「やりたいことのコンセプトメイク」を学びました。



創業塾 pontekia（ポンテキア）

三条市と共催で「創業塾 pontekia（ポンテキア）」を開催いたしました。7 月から 11 月まで、全 9 回の起業家向けセミナーに、当金庫からも 2 名の職員が参加し受講生をサポートいたしました。

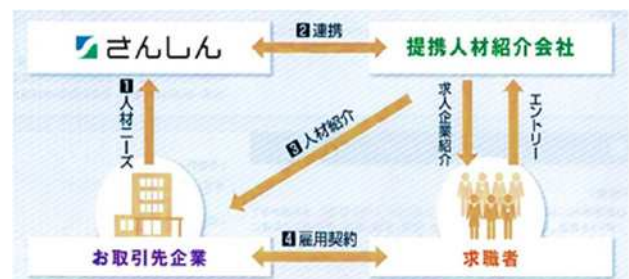
当金庫は、創業資金のご融資だけでなく、ビジネスプラン作成から実際の創業、その後のフォローアップまで一貫した支援を行っています。



人材採用支援

当金庫は、2022 年 3 月 1 日付で厚生労働大臣より「有料職業紹介事業」の許可を取得しました。また、3 月 31 日付で内閣府「先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者にも採択されました。

お取引先企業の経営課題を明確化したうえで、提携人材紹介会社とも連携して「経営幹部人材」や「専門分野人材」等のニーズに適した人材を紹介してまいります。



燕三条医工連携コンソーシアムの取組み

当金庫が参加する「燕三条医工連携コンソーシアム」において、関節リウマチの患者さん用「爪切り」と巻き爪用「爪切り」の 2 つの製品が完成いたしました。新潟大学医学部や附属病院等の医療現場のニーズを基に医療関連製品の開発を目的として、患者さんやそのご家族のニーズをもとに、株式会社マルト長谷川工作所さまが、大学のアドバイスを受けながら試作と評価を繰り返し、約 1 年をかけて開発いたしました。（右の写真はコンソーシアムの取組みの様子です）



三条信金 Big Advance（ビッグアドバンス）の取扱開始

2021 年 4 月より、中小企業の皆さまが抱える様々な経営課題をサポートするため、「三条信金 BigAdvance（ビッグアドバンス）」の取り扱いを開始いたしました。本サービスは、サイトを通じてビジネスマッチング、福利厚生、ホームページ作成、補助金や助成金の照会、チャット機能のほか、新機能として「CAMPFIRE」と連携したクラウドファンディングサービスが利用できるようになりました。



さんしん SDGs 導入支援サービス

地域社会における SDGs 取組促進を目的として、東京海上日動火災保険株式会社と提携し、お取引先企業の SDGs に係る取組診断や宣言策定支援等を行うサービスの取り扱いを開始いたしました。また、本サービスにより SDGs 宣言を行ったお取引先企業を当金庫 HP 内で紹介するページも設置しております。



一般社団法人 環境省エネ推進研究所との連携協定締結

持続可能な社会の実現に向け、地域の事業者が取り組むゼロカーボン事業の創出や推進を行い、地域の環境と経済の好循環に寄与することを目的として、SDGs 推進と地域の脱炭素化に向けた地域エネルギープラットフォーム事業に関する連携協定を締結いたしました。「省エネ診断」等をお取引先企業にご紹介し、脱炭素・SDGs 推進を支援してまいります。



事業承継セミナー

2022 年 2 月と 3 月に全 2 回の「事業承継セミナー」（主催：三条市、共催：当金庫）を開催いたしました。中小企業経営者の高齢化が進むなかで、円滑な事業承継が重要な課題となっております。事業承継の知識や理解を深めていただくことで、スムーズな事業承継ができることを目的としております。



新現役交流会

2021年10月に地元中小企業の課題解決のため、豊富な実務経験や専門知識を有する大企業OB(新現役)との出会いの場を提供する「新現役交流会」を開催いたしました。

2021年度は感染防止の観点から、すべての面談をオンラインに変更し、新潟県内5信用金庫(三条、新発田、新潟、長岡、柏崎)から15社が参加いたしました。新現役が有するスキル・ノウハウを、当地の中小企業において活用してまいります。



事業継続力強化 計画 策定 WEB セミナー

2021年8月、国の認定を受けることで、信用保証枠の追加や補助金・税制の優遇措置が享受できる「事業継続力強化計画」の策定セミナーを開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症や地震・風水害等不測の事態が発生するなか、中小企業においても事業継続力が求められています。受講生からは、セミナー内で実際に計画を作成していただきました。



創業支援事例コンテスト優秀賞受賞

2022年3月、関東信用金庫協会の会員金庫、49金庫を対象に開催された創業支援事例コンテストにおいて、当金庫が優秀賞を受賞いたしました。当金庫の創業支援活動について、一定の評価をいただいたものと感謝いたしますとともに、今後も地域経済の活性化に貢献してまいります。



「三条・燕地区経済動向」説明会の開催

三条市、燕市など地方公共団体や地元の大学、高等学校のほか、地元企業、経済団体、各種セミナーなど各方面からの依頼に基づき、経済動向について講演を実施しています。地元経済のタイムリーな情報発信により、地域社会への情報提供を行っております。2021 年度は経済説明会を 9 回実施いたしました。



「三条・燕地区産業経済動向」の発行

三条・燕地区の事業所、主要 13 業種約 180 社からのアンケートやヒアリングを基に各業界の経済動向について調査を実施、発行部数は 1,100 部。昭和 45 年（1970 年）より 50 年以上にわたり継続発行しています。地域に特化した経済資料として、官公庁やマスメディア、地元企業など各方面から注目されています。



さんしん未来塾

若手経営者で組織する「さんしん未来塾（会員数 115 名）」では、定期的に外部講師による勉強会を行い、経営に関する知識・ノウハウの習得や人脈作りを支援しております。2021 年 11～12 月は、コロナ禍で影響を受けた飲食店の応援事業を行いました。



豊かな地域社会を目指して

経済講演会

「さんしん 7 月講演会」として各営業店のお客さまの会である「さんしん会」にご後援いただき、毎年、財界人、著名人を講師にお招きし、経済講演会を開催しております。



がんを知るセミナー

2010 年 9 月に三条市と『三条市民を「がん」から守るプロジェクト』の協定を締結し、「がん検診の受診率の向上」に向けた啓蒙活動の一環として講演会を開催いたしました。以来、著名ながん権威の医師やがん罹患歴のあるタレントを講師に迎え、年 1 回開催し、2020 年、節目の 10 回開催となり、10 回の講演内容をまとめた記念誌を発行いたしました。



夏休みさんしんキッズセミナー

2010 年から金融教育の一環として小学生を対象とした「キッズセミナー」を開催しています。
2020～2021 年は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、毎年夏休みの時期に多くのお子さまからご参加いただいております。



さんしん旅行

お取引先を対象に、日頃の感謝を込めて、春は日帰り、秋は 2 泊 3 日の「さんしん旅行」を企画しております。趣向を凝らした企画により、多数の皆さまからご参加いただいております。(2020～2021 年は新型コロナウイルスの影響で中止になりました)



ゲートボール大会

三条市を中心とする地域の皆さまの健康増進と親睦を図るため 1982 年から毎年 6 月に開催し、2019 年で 37 回を数えました。当地内においてゲートボールの大会としては最も大きな大会として定着しており、毎年たくさんのチームから参加をいただき熱戦が繰り広げられています。(2020～2021 年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止となりました)



ファミリーバレーボール大会

三条市を中心とする地域の皆さまの健康増進と親睦を図るため 1978 年の第 1 回大会から 2019 年で 41 回大会となる歴史ある行事です。毎年 11 月の休日に開催する本大会は市民総合体育祭と並ぶ貴重な公式戦として認識されており、小中学の父母、教員で構成する PTA の部と町内・企業等で編成された一般の部でそれぞれ試合を行います。(2020～2021 年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止となりました)



三条市を代表する一大イベントである夏祭りを盛り上げるべく、役員以下三条市内店舗の職員が、そろいの浴衣に身を包み毎年民謡流しに参加いたします。祭りのフィナーレを飾る大花火大会には当金庫の花火が夜空を彩ります。(2020～2021 年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止となりました)



フードバンクへの寄贈

三条信用金庫職員会は、SDGs への取り組みと地域貢献活動の一環として、2020 年度に続き家庭の中で食べきれない食品などを集めて「フードバンクにいがた」へ寄付いたしました。本店職員と職員会が本部及び市内 16 店舗の役職員に呼びかけて実施いたしました。



カーブミラー寄贈・カーブミラー掃除

当金庫と三条信用金庫職員会は、地元の交通安全に役立てていただくため、昭和49年から毎年三条市へカーブミラーを寄贈しております。令和3年度は5基のカーブミラーを寄贈し、合計で324基となりました。また、職員会では、毎年6月15日の信用金庫の日の社会貢献事業として、カーブミラー清掃と近隣の通学路のごみ拾いのボランティア活動を続けております。



プラネタリウム

2022年2月、三条市が当金庫の創立120周年記念事業の寄付により購入した、移動式プラネタリウムのお披露目会が開催されました。2022年7月開館の三条市図書館等複合施設「まちやま」の科学教育センターに設置され、小中学校の授業やイベントで活用される予定です。



地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」への推薦

三条市が取り組みを進めている「“ものづくりのまち”の未来を担う児童生徒の科学的思考力と創造力を育成する科学教育センター設立事業」を信用金庫の中央機関である信金中央金庫が実施している地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」に当金庫が推薦し、寄付対象事業に選ばれました。その結果、信金中央金庫から三条市に対して、企業版ふるさと納税制度を利用した1千万円が寄付されました。



献血

社会貢献活動の一環として、春と秋年2回の献血を実施しています。令和3年度は5月16日と11月11日に実施し、合計で112名のお職員が協力いたしました。



新型コロナワクチン接種体制の周知等に係る協力体制

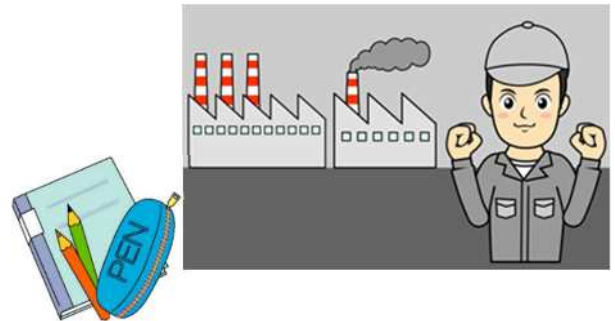
2021 年 5 月、市内 8 金融機関が参加し、三条市の「新型コロナワクチン接種体制の周知等に係る協力体制」が発足いたしました。当金庫もワクチン接種を推進するため情報発信やお客さまの接種予約のサポートを行いました。



新型コロナウイルス対応融資の創設

新型コロナウイルスの影響を受けて雇用調整助成金の支給申請を行った事業者に対する、支給されるまでの間の「つなぎ融資制度」を創設いたしました。

新型コロナウイルスの影響により就学継続に困難を来す大学生向けに、収入が無くとも借入可能な「教育資金制度融資」を創設いたしました。



取引先支援のための応援資金

新型コロナウイルスの感染拡大により、営業時間の短縮や休業を余儀なくされている飲食店などの取引先事業者を支援するため、「取引先支援のための応援資金」を全職員に支給いたしました。地元飲食業での消費を限定した、コロナ禍後 3 回目の支給となりました。



特殊詐欺被害防止活動

お客さまの財産を特殊詐欺の被害から守るため、特殊詐欺防止活動を行っています。三条警察署にご協力いただき、年金受給日に注意を促すチラシを配布するとともに、窓口での防止訓練や研修を実施しています。令和 3 年度は、塚野目支店（2021 年 8 月）、燕西支店（2021 年 9 月）、燕三条支店（2022 年 3 月）が警察署より特殊詐欺未然防止により感謝状をいただきました。



持続可能な地域環境をめざして



健康経営優良法人 2022 の認定について

2022 年 3 月に、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組を実践している法人として「健康経営優良法人 2022(大規模法人部門)」に認定されました。
「健康経営に取り組み、職員の健康管理を経営的な視点で考える組織」として職員や求職者等から信頼される態勢づくりを目指してしております。



「三条信用金庫 創立 120 周年記念誌」の発刊

2021 年 12 月に、創立 120 周年記念事業の一環として、「三条信用金庫 創立 120 周年記念誌」を発刊いたしました。忘れてはならない先人、先輩方の苦勞を思い起こさせる記述とし、次の 130 周年、150 周年につなげる編纂といたしました。



ボランティア活動による地域との関わり

営業店のボランティア活動による自主的な地域との関わりは、水資源の保護、介護施設支援、商店街の清掃活動など多岐に渡ります。当金庫は、各営業店が地元密着理念と「さんしん SDGs 宣言」の趣旨に則り、地域との結び付きを深めるために積極的に活動しております。



SDGs にもとづく内部態勢の確立

当金庫は、SDGs の理念に基づく態勢づくりに努めています。紙資源、電力使用量などの具体的な数量管理による削減や、尾瀬木道リサイクルペーパーの利用、WEB 会議による脱ペーパー、脱ビニール、電気自動車の導入等によるゼロカーボンに向けた取組を進めています。



金融仲介機能のベンチマーク

2022年3月

1. 共通ベンチマーク

(1)取引先企業の経営改善や成長力の強化

①金融機関がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数(先数はグループベース。以下断りがなければ同じ)、及び、同先に対する融資額の推移

	2022年3月	2021年3月	2020年3月
メイン先数	1,061社	938社	941社
メイン先の融資残高	642億円	582億円	540億円
経営指標等が改善した先数	441社	30社	380社

	2022年3月	2021年3月	2020年3月
経営指標等が改善した先に係る事業年度末の融資残高の推移	285億円	303億円	231億円

(2)取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

②金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

(単位:社)	条変総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更に係る経営改善計画の進捗状況	162社	1社	15社	8社

※改善計画を策定していない先は不調先に含めてあります。

③金融機関が関与した創業、第二創業の件数

金融機関が関与した創業件数	31社
金融機関が関与した第二創業件数	1社

2. 選択ベンチマーク

(1)地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

①全取引先数と地域の取引先数の推移(先数単体ベース)

	地元					地元外	
	三条市	燕市 弥彦村	加茂市 田上町	見附市	新潟市	その他県内	県外
2022年3月 地域別の取引先数 (全取引先数 3,286社)	3,210社					76社	
	1,775社	550社	117社	63社	705社	62社	14社
2021年3月 地域別の取引先数 (全取引先数 3,307社)	3,225社					82社	
	1,791社	553社	120社	65社	696社	68社	14社
2020年3月 地域別の取引先数 (全取引先数 3,314社)	3,237社					77社	
	1,808社	552社	127社	65社	685社	61社	16社

②メイン取引(融資残高1位)先数の推移、及び、全取引先数に占める割合(先数単体ベース)

	2022年3月	2021年3月	2020年3月
メイン取引(融資残高1位)先数の推移	1,167社	1,010社	1,024社
全取引先数に占める割合	35.5%	30.5%	39.6%

(2)事業性評価に基づく融資等担保・保証に過度に依存しない融資

⑦地元の中小企業と信先のうち、無担保与信先数、及び、無担保融資額の割合(先数単体ベース)

	地元中小与信先数①	地元中小向け融資残高②	無担保融資先数③	無担保融資残高④	③／①	④／②
地元の中小企業融資における無担保融資先数、及び無担保融資額の割合	3,194社	1,150億円	422社	152億円	13.2%	13.2%

(3)本業(企業価値の向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

⑭ソリューション提案先数及び融資額、及び、全取引先数及び融資額に占める割合

	全取引先①	ソリューション提案先②	②／①
ソリューション提案先数、及び、同先の全取引先数に占める割合	3,286社	133社	4.0%
ソリューション提案先の融資残高、及び、同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	1,238億円	84億円	6.8%

⑮メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合

	メイン先数①	経営改善先	②／①
メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合	1,061社	72社	6.8%

⑯創業支援先数(支援内容別)

	①創業計画の策定支援	②創業期の取引先への融資 (プロパー)	②創業期の取引先への融資 (信用保証付)
	26社	8社	21社
創業支援先数	③政府系金融機関や 創業支援機関の紹介	④ベンチャー企業への 助成金・融資・投資	
	2社	0社	

⑰販路開拓支援を行った先数(地元・地元外・海外別)

	地元	地元外	海外
販路開拓支援を行った先数	30社	5社	1社

⑱M&A支援先数

M&A支援先数	4社
---------	----

⑲事業承継支援先数

事業承継支援先数	36社
----------	-----

(4)経営人材支援

⑳中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介数(人数ベース)

中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介数	0人
--------------------------------	----

㉑上記の支援先に占める経営改善先の割合

	支援先数 ①	経営改善先 ②	②/①
28の支援先に占める経営改善先の割合	0社	0社	

(5)迅速なサービスの提供等顧客ニーズに基づいたサービスの提供

㉒運転資金に占める短期融資の割合

	運転資金額	短期融資額	②/①
運転資金に占める短期融資の割合	787億円	284億円	36.1%

(6)業務推進体制

㉓中小企業向け融資や本業支援を主に担当している支店従業員数、及び、全支店従業員数に占める割合

	全支店 従業員数①	左記業務担当 従業員数②	②/①
中小企業向け融資や本業支援を主に担当している支店従業員数、及び、全支店従業員数に占める割合	224人	97人	43.3%

(11)他の金融機関及び中小企業支援施策との連携

㉔REVIC、中小企業再生支援協議会の利用先数

	REVIC	中小企業再生 支援協議会
REVIC、中小企業再生支援協議会の利用先数	0社	1社

㉕取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数

	支援先数
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	72社

3. 独自ベンチマーク

①本業(企業価値の向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供を行った先数・融資残高(非メイン先、条件変更先含む)

	先数	融資残高
選択ベンチマーク 14、28、43 の合計 (選択ベンチマーク15の定義で非メイン先、条件変更先を含む)	192社	126億円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	5.8%	10.2%

※ 共通ベンチマーク (3)担保・保証依存の融資姿勢からの転換⑤の代替指標

②経営者保証に関するガイドラインの活用状況

	2021年度	2020年度	2019年度
新規に無担保で融資した件数	858件	1,243件	936件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	22.81%	25.01%	15.78%
保証契約を解除した件数	35件	43件	45件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件 (当金庫をメイン金融機関として実施したもの)	0件	0件	0件

※選択ベンチマーク 11.経営者保証ガイドラインの活用先数、および全与信先に占める割合(先数単体ベース)の代替指標